

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1690100951		
法人名	医療法人社団 中山会		
事業所名	グループホームきぼう		
所在地	〒939-2252 富山市上大久保1581-1		
自己評価作成日	令和元年12月28日	評価結果市町村受理日	令和2年8月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人富山県社会福祉協議会		
所在地	富山県富山市安住町5番21号		
訪問調査日	令和2年1月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・理念に沿った介護を心掛けており、個々の「生きる力」「その人らしい生活」を大切にしています。そして、お一人おひとりの状態に応じてサポートをさせていただいています。ご家族様ともこまめに連絡を取り、入居者様の状態をお伝えし、今後の方向性についても話し合っています。入居者様が穏やかな環境の中で安心安全に過ごせるように努めております。また、看取りも行っており、医療職員と連携して、人生の最後を安心安楽に過ごしていただき、入居者様並びにご家族様が「ここで良かった」と思っただけのように心掛けています。

・生活リハビリや学習療法を行い、ご自分のできる事ややりたい事をおこない、出来た喜びや自信に繋げていくように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・認知症の予防や進行抑止改善のために、職員全員が学習療法について学び、利用者を支援している。

・富山県立富山高等支援学校や介護労働安定センターより実習生の受け入れを行っている。

・基本的に居室にTVの設置は遠慮してもらい、利用者全員が寝る場合以外は共有スペースで(TVを見るなど)過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・週に一度、希望ヶ丘ハウス全体で行う朝礼時に、全員で理念を唱和し、共通理解をするとともに、日頃から実践に繋がられるように心掛けている。	法人理念は介護理念と全職員が理解し、毎週金曜日に希望ヶ丘ハウス全体で行う朝礼時に唱和をしている。また、玄関・共有スペースに掲げ、問題が起きた際には申し送り時に理念を基に話し合いを行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・音楽ボランティアの方々に来ていただいている。	事業所内の地域交流センターを開放し、住民へ企画提案をするも参加者は滞っている。大沢野中学校からは14歳の挑戦で3名の実習があり、大沢野こども園からは園児が15名ほど来所し、体操を披露するなど交流している。また、地域の季節行事(春の獅子舞等)へ参加しており、年に1回のきぼう祭りでは家族・近隣の方の来所がある。	今後は地域との協力体制をより一層深めるためにも、自治会・町内会・老人会等地域団体への参加を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域の方々に向けては活かせていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議にて定期的に報告や話し合いを行っているが、具体的な提案等もなく、サービスには繋がっていない。	運営推進会議は偶数月にグループホームと小規模多機能事業所の合同で開催しており、日時は年間計画として決定している。地域福祉課・地域包括支援センター・区長・民生委員・地区社会福祉協議会会長・家族が参加しているが、2事業所合同開催のため、会議では事業所からの報告のみになっている。	グループホーム独自のサービスへと繋げるためにも、具体的な提案等が検討できるように実施方法を工夫した運営推進会議の開催に期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・運営推進会議にて話をする程度。	運営推進会議出席の際に事業所の現状やケアサービスの取り組み等について話をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・年2回の身体拘束排除について職員研修を行い、日頃の介護でもカンファレンスで、身体拘束にならないように努めている。 ・玄関のみ施錠している。	玄関は24時間施錠しているが事業所内(隣接した看護小規模多機能型居宅介護支援のスペースも含む)は、自由に移動できる。また、年間研修計画には、2回身体拘束を取り上げ、マニュアルを参考に研修を行っている。ヒヤリハット事例は朝のミーティングで報告し話し合っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・尊厳を持って接するように、常に意識している。 ・職員内で話し合い、何かあれば管理者に報告できるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・特に研修はしていない。 ・成年後見人がついている入居者様がいるので、その対応から学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時に管理者が具体的に説明している。 ・携わっていないのでわからない。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見や要望等は管理者や職員がお聞きし、変更の検討を行い、できる範囲での改善を行っている。また、運営推進会議に、ご家族様の参加を促しているが、平日日中の為、なかなか参加していただけない状況である。	家族の来所は多く、毎日来所される家族もいる。また、家族からの電話や連絡内容はノートにまとめ、職員で共有し改善を図っている。利用者の生活の様子は「* * 様 * * 月の様子」シートにまとめ、請求書と一緒に家族へ郵送している。	運営推進会議への参加が困難な家族のために、会議録を目に留まる所に置き、閲覧の声かけをするなど、家族に関心をもってもらえるような工夫を期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・意見を聞く機会を設けており、話しやすい環境である。 ・いつでも気軽に意見を聞いており、また、定期的に面談を設け、職員一人ひとりの意見を聞き、少しでも反映できるようにしている。	年二回、春と秋に面談を行っている。また、月1回、職員全員参加で会議を行い、その折にテーマに沿った研修を職員がリーダーとなって実施している。(年間で計画されたテーマを職員が講師となって発表する)。希望があれば事業所内での勤務移動も可能となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・個々の職員の事を見てアドバイスをくれる等、働きやすい職場である。 ・休みや勤務時間等の希望は、できるだけ取り入れてもらえるよう配慮されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・上司判断にて参加を決めて受けている。 ・資格取得のための研修に派遣し、スキルアップの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・各種外部研修に参加する機会がある。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居様が安心してできるよう声掛けに努め、傾聴している。 ・表情や言動に留意して、ご本人様の思いに沿えるように意識している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族様が話しやすい雰囲気を作るように心掛けている。 ・面会時に、ご家族様とお話しをして、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・ADLやこれまでの生活状況を考慮しながらサービスの提案をしている。 ・その都度、必要と思われるサービスの提案をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・過度な介助にならないように、人生の先輩であるという意識を持っている。 ・家庭のように心休まる場所で、共に生活する家族のように意識している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・日々の状態を面会時に伝えたり、月に一度は「月のご様子」として記録として渡したりしている。体調不良時には、その都度連絡して、どのような状態で、どのように対応しているかを伝え、安心してもらえるように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・知人の面会がある人がいる。 ・ご家族様が墓参りや以前住んでいた土地に連れていかれたりしている。	職員は利用者の行きたい場所を把握しており、家族の協力で馴染みの美容院に出かけたり、事業所の菜園の収穫を手伝ったりしている。また、訪問理容はヘアカタログから利用者本人に希望を選んでもらっており、季節に合わせて近隣の観光名所にも交替でドライブに出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・居室にて一人ぼっちにならないように、共有スペースに出ただき、職員が間に入り、入居者様同士が交流できるように橋渡しをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退去されても、ご家族様から近況報告があったり、年賀状のやり取りをしたりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・ご本人様の希望に耳を傾けれるように努めたい。 ・意思を伝えられない入居者様に関しては、職員間で十分に話し合っている。	毎日、利用者に声がけを行い要望に応じている。意思疎通が困難な利用者には「はい・いいえ」で答えられるような簡単な言葉がけや表情などから思いを汲み取るようにしており、ミーティングでも話し合いながら意向に沿えるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時の面談にて、ご本人様やご家族様から、生活歴や今までのサービス状況などを伺い、アセスメントしている。 ・アセスメントシートを見て、病歴なども含め、確認できるようになっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・個々の生活記録や申し送り等で把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご本人様の様子をモニタリングして、介護計画に活かしている。 ・その都度、ご家族様の意向も伺い、参考にしている。	申し送りやモニタリングなどで職員の意見を交換し、本人や家族の要望に沿えるように努めている。また、変化があれば担当者会議で話し合い、家族にも説明し同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個別に生活記録を記入しており、状態の把握や情報共有をしている。 ・カンファレンスで決まったことは連絡ノートに記載、情報共有し、介護計画の見直しに活かしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・ご本人、ご家族の状況を把握し、柔軟に支援していけるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・社会資源は把握しているが活かしているかは分からない。 ・安全に暮らしていけるように努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・小さな変化でも、速やかにかかりつけ医に報告、相談しており、適切に対応してもらっている。ご家族様からも「安心する」と言われている。	全利用者が入所時に協力医療機関である大沢野中央診療所を希望している。月1～2回の往診があり、変化があれば家族に説明をしている。また、緊急時は他の医療機関へ職員が付き添い受診している。他の診療科への受診は家族が同行している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・小さな変化や異常が見られたら、すぐに看護師に報告し適切な対応を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入退院時は、しっかりと情報交換をして、スムーズに対応できるようにしている。入院中も定期的に状況を聞いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・契約時に、ご家族様に説明をして同意を得ている。また、状態の変化があれば、その時々で話し合いをしている。	住み馴れたところで最期を迎えて欲しいという家族の思いから、看取りを行っており、入所時に本人や家族から同意を得ている。また、変化があれば家族を交えて話し合い治療方針を決めている。急変時には、隣接の看護師が対応しているが、延命治療は行っていない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・急変時の対応マニュアルがあり、何かあったらすぐに看護師に報告し対応してもらっている。その際、指示や助言を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回自衛消防訓練を行っている。 ・同敷地内の他事業所との協力体制は整っている。 	<p>年2回、火災や地震に備えた訓練を行っている。水害の訓練は実施しておらず、ハザードマップで安全確保に努めている。備蓄品は食材や物品は準備しているが、水や食料品は整備されておらず現在検討している。地域との協力体制は得られていない状況である。</p>	<p>法人として、またはグループホーム独自で自治会や町内会へ積極的に参加するなど、常時から地域との協力体制を築かれることに期待したい。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・特に排泄時の声掛けは、意識している。 ・その方に応じた対応に心掛け、細心の注意を払っている。 	<p>一人ひとりの思いに寄り添い、個別のプログラムを作成しケアに努めている。また、無理強いせず優しい言葉がけで対応している。</p>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・何かをする時には、ご本人に確認している。 ・一対一での対応で、ご本人の話を傾聴するなど心掛けている。 ・時間に追われ、自己決定の働きかけが不十分なことがある。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の希望に沿うように努めているが、職員が手薄な時は難しいこともある。 ・一日のスケジュールは型通りには決めず、一人ひとりに合ったペースで過ごしてもらうように心掛けている。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの際には、一緒に好きな洋服を選んでいただいている。ご自分で選べない方にも「素敵ですね」等と声掛けをしている。 ・化粧をされている方もおられる。 		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・お盆拭きやおやつ作り等は、できる範囲でしてもらっている。 ・メニューによっては食事形態を変えて提供すると喜んで召し上がられる。 	<p>入所時に本人や家族から好みを聞いたり、食べたいものがあれば取り入れている。また、利用者と一緒に盛り付けや食器拭きを行っており、おやつ作りでは、生地を焼いたりあんを丸めて利用者と共に楽しく取り組まれている。</p>	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配業者から食事をとっているので栄養バランスはとれている。 ・食事量や水分量を記録しており、その日の状態や体調を考慮して、栄養ドリンクやゼリーにて補うこともある。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後、一人ひとりに合った方法で口腔ケアをしている。 ・ご自分で歯磨きをされる方もいれば、介助にて歯磨きをされる方、スポンジのみで口腔内を拭き取る方もいるが、それぞれに対応している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・一人ひとり排泄パターン(時間)や入居者様の様子から、トイレ誘導をして自排尿や自排便を促している。 ・立位ができず、パッド交換の方もいる。	排泄チェック表を使用して個別にトイレ誘導を行っており、家族から紙パンツを使用してほしいとの要望があった際は応えている。また、排便での汚染には、温かいタオルを使用して清潔保持に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分摂取量を増やしたり、体操を取り入れたりして、便秘の予防に努めている。 ・排便の有無、量、形状のチェックや記録をして、排便が見られない方は、医師処方の下剤を服用していただくこともある。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・機械浴の方も多く、使用状況や風呂場の数にも限度がある為、週2回の曜日は決めているが、拒否があったりした場合、時間をずらしたり、曜日を変更するなど、臨機応変に対応している。	職員は1対1で個別に支援しており、利用者が入浴したい時に入れるよう柔軟に対応している。また、体調が悪く入浴できない時は清拭を行っている。車椅子利用の方は機械浴で職員が二人体制で見守っている。入浴を拒む利用者には、言葉がけを工夫しながら対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・一人ひとりの体調を見ながら静養していただけますが、昼夜逆転される方もおられるので、日中は活動的に、夜はゆっくりと休んでいただくように、配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬表にて、一人ひとりの内服状況は分かっている。副作用までは分からないが、薬情報ファイルにて確認することはできる。 ・症状や状態により管理者や看護師に確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・洗濯物たたみやお盆拭きを自分の役割として取り組まれる方や毎日、夕方にカーテンを閉めることを日課にしている方もいる。 ・ティータイムにはお好きな飲み物を提供している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・春にはお花見ドライブや買い物支援にも出かけていましたが、秋に咳を伴う風邪が蔓延して、2ヶ月以上外出制限しており、楽しみにしていた「紅葉狩り」に行けなかった。 ・天気や体調を見て、個々で散歩に行くなどしている。	毎日、利用者に行きたいところを聞いて要望に応じており、食事の買い出しがあれば利用者と一緒に出かけている。また、往復20分の場所にある公園へ職員と散歩したりしている。家族と一緒に天気の良い日はドライブなどを楽しませている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・現金の持ち込みやお預かりは、原則禁止している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話をかけたいと言われる方は殆どおられず、電話をかけたいとの希望に関しては、ご家族様に確認しており、要件を職員が聞いて伝えておくことになった。 ・手紙やハガキのやり取りはしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・リビングが中庭に面しており、季節感もあり、自然光が入ってくる。 ・リビングの壁には入居者様の作品を飾っている。温度調節も行っている。	共有スペースは北棟と南棟の二箇所があり、中央は職員の部屋となっているが、利用者も自由に行き来している。壁には利用者が作ったぬりえや貼り絵、刺子を飾っており、畳の部屋では利用者が身体を休めたり自由に過ごせる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・人間関係を考慮して、気の合ったもの同士で、食事やティータイムは、決まった席に座っていただくが、レクリエーションなどでは、自由な席にして気分転換を計っている。 ・ユニットの行き来は自由である。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・使い慣れた洋服、毛布やタンスなどを持ってきていただき、居心地よく過ごせるようにベッドやタンスの配置をご家族様と共に決めている。	居室にベッド、エアコン、タンスが備え付けられ温度調節は職員で管理されている。布団などは本人の好みのものを持ち込み使用している。家族の写真や小物が飾られているなど、安らげる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・トイレや風呂場など分かりやすい案内表示をして、自立した生活を送れるように支援している。 ・建物内では自由に過ごしてもらい、ユニットの行き来も自由にしてもらっている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	食材や物品は備蓄しているが、水や食料品の備蓄はなく検討中である。同一敷地内にある他事業所(同一法人)との協力体制はできているが、地域との協力体制が得られていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の充実。 ・地域との協力体制の確立。 	事業所として法人の方に備蓄品の購入要請はしました。地域との協力体制についても、法人の方へ打診はしてあります。	1ヶ月
2	10	ご家族様の運営推進会議への参加が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議へのご家族様の参加。 	会議録を目の届くところに置き閲覧していただいたり、定期的に発行しているグループホーム便りに簡単にまとめた記事を載せたりなどして、ご家族様に興味を持っていただく。	3ヶ月
3	2	自治会・町内会への加入していないため、交流が図れない。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、町内会、老人会等への参加。 	法人へ、自治会・町内会への加入の打診(以前からしています)	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。